

海外食料需給レポート (Monthly Report) のポイント 国際的な穀物等の需給の見通し (2009/10年度)

穀物全体、油糧種子ともに生産量は消費量を上回ると見込まれるものの、とうもろこし、大豆等の生育期に移行した南米の天候等に注視が必要。

穀物全体の期末在庫率は 21.4%と前年度(20.7%)並みで、FAOの安全在庫水準(17~18%)を上回る見込み。

○主な品目別の需給

小麦

世界的に豊作となった前年度より生産量は減少するものの、消費量を上回る生産量が確保され、需給は緩和すると見込まれる。

【生産量：676.1百万トン（▲1.0%）、消費量：644.5百万トン（+0.7%）】

- ◇北半球の2010/11年度の冬小麦は、概ね良好な状態で休眠中
- ◇豪州及びアルゼンチンで概ね収穫が終了
- ◇米国をはじめ世界の期末在庫量は大幅に積み増し

とうもろこし

前年度より生産量はわずかに増加し、史上最高となるも、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：796.4百万トン（+0.6%）、消費量：806.2百万トン（+4.0%）】

- ◇米国で史上最高の豊作見通し。ただし、降雪等により収穫が大幅に遅れ、全体の約5%が未収穫のまま越年
- ◇米国で飼料及びエタノール原料用需要の増加
- ◇ブラジル及びアルゼンチンでは土壌水分に恵まれ、生育に適した状態

米

前年度より生産量は減少し、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：434.7百万トン（▲2.7%）、消費量：436.5百万トン（+0.4%）】

- ◇インドでモンスーン期の干ばつ、その後の洪水で、生産量が減少
- ◇フィリピンで台風による冠水等で生産量が減少し、昨年末に輸入入札を実施

大豆

面積の増加から生産量は前年度を上回り、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

【生産量：253.4百万トン（+20.2%）、消費量：234.8百万トン（+6.4%）】

- ◇米国、ブラジル及びアルゼンチンで史上最高の豊作見通し
- ◇中国の大豆（搾油用）需要の増加から、輸入が史上最高となる見通し
- ◇ブラジル及びアルゼンチンでは土壌水分に恵まれ、生育に適した状態